



## がん治療の最新放射線治療装置を導入

がん治療のための最新の放射線治療装置が4月から稼働します。

### ◆がんの治療法の種類

一般的に手術療法・化学療法とともに、放射線療法が、がんの三大治療として知られています。

### ◆放射線治療の特徴

高エネルギーの放射線を局所的に使用し、がんを縮小させたり、成長を遅らせる治療法です。手術療法と違い、患部を切除しないため、がんに侵食された臓器の機能・形態の温存も可能となります。身体への負担が少なく高齢者にも適応できるやさしい治療法とされています。

当院では、平成9年(現病院移転時)から放射線療法を実施していますが、この装置の導入により、3次元CT画像を駆使

した高精度の照射が可能となります。

### ◆治療期間

一般治療と呼ばれる通常の治療では、週5日、何週かに渡って行います。回数や頻度は治療の目的、病状によって決まります。通常の生活を送りながら、通院での治療を受けることも可能です。1回の治療時間は20分程度です。

また脳腫瘍に対して行う特殊な治療法では、短期で集中的に治療を行います。全身状態の観察のため、2〜3日の入院が必要となります。

### ◆費用

一般治療で全30回の治療を行った場合、保険適用が3割負担であれば、3万〜4万5千円の自己負担となります。脳腫瘍に対して行う特殊な治療の場合、3割負担で19万円程度となります。

医療費が高額になりそうな時は限度額適用認定証をご利用ください。



## ふつうがいちばん…に!?

新属新種であることが判明し、世界でたった一つのホロタイプ標本に指定されたインカクジラの化石。開館当初からエントランスでお客様をお迎えしてきた化石が、世界の宝物になりました。

ホロタイプとは、生物の種を特定する基準となる、世界で一つだけの特別な標本のことです。今後、種類不明の鯨類化石がインカクジラかどうかを判定するには、それが世界のどこで発見されたものかとしても、蒲郡の標本と比較検討することになるのです。太古の海を泳いでいたインカクジラには、きつと多くの仲間がいたでしょう。ホロタイプはまだ見ぬ仲間たちの



## 世界に一つだけの…♪ by たんぽぽ



※ 新種の決め手は正しくは「鼻の周りの骨」です。

**生命の海から**

館長 山中敦子

生命の海科学館

☎66♦1717